

発達「支援」の、その先へ

ADDS

Advanced Developmental Disorders Support



すべての人が希望をもって
生きていける社会へ

15周年を記念して

マンスリーサポーター 100名募集!

[2024年8月4日～12月31日]

なかまになる



1000円から
はじめる

毎月わたしたちを応援してくださる サポーター=なかまを探しています

皆様から頂いたご支援は一般寄付という枠組みの中で、これまでの既存の取り組みの他、これから加速させたい社会課題解決に向けた「3つの取り組み」にかかる費用など、ADDSのミッション達成のために行う取り組み全般に大切に使用させていただきます。

研究・提言・啓発

「発達障害の概念が必要ない社会」 の実現に向け

調査や研究によってエビデンスを構築し、その成果を基にした政策提言や啓発活動を通じ、担い手育成や社会の変化に貢献します。いただいたご支援は調査や研究データ分析、体験ワークショップの運営、学生セラピスト研修の開催、政策に係る訪問・提言や政策提言根拠資料作成にかかる費用の一部に充てさせていただきます。

災害×発達障害

被災時の課題解決

環境の変化が苦手な発達障害のお子さんは、災害時様々な困難に直面します。避難所にいられず倒壊の危険がある自宅に戻る、偏食があり食事がとれない、環境が合わず自傷や他害が増加といった課題が挙げられます。いただいたご支援は、物品や食料、環境への支援や相談対応の一部に充てさせていただきます。

困窮×発達障害

困窮時のサポート

難民や貧困からくる困窮をきっかけに生じた、発達支援へのアクセス遮断や、通常の緊急支援で対応できない衣食住の課題などが上げられます。いただいたご支援は、心理検査や資料作成、特性に合わせた衣食住支援、ソーシャルワーク等にかかる費用の一部に充てさせていただきます。

キャンペーンの詳細やご寄付のお申し込みはこちらから
2024年8月4日～12月31日



キャンペーン後の
ご寄付はこちらから
2025年1月1日～



古本でのご寄付
「チャリボン」はこちらから
古本のリユースを活用して寄付ができる「チャリボン」からも
ADDSに支援可能です。



正式名称	特定非営利活動法人 ADDS	法人資格取得	2011年12月16日
所在地	東京都杉並区荻窪 5-16-14 カバパビル5F (ADDS Kids 1st 荻窪)	常勤職員	34名
施設概要	児童発達支援事業・主たる事務所	非常勤職員	37名
共同代表(理事)	熊 仁美 竹内 弓乃	運営事業所	ADDS Kids 1st 鎌倉 〒248-0014 神奈川県鎌倉市由比が浜三丁目11番48号 由比が浜こどもセンター 3F 施設概要: 児童発達支援事業、相談支援事業
理事	原 由子 加藤 愛理		江戸川区発達相談・支援センター(指定管理) 〒132-0031 東京都江戸川区平井四丁目1番29号 施設概要: 児童発達支援センター、相談支援事業、発達障害相談センター
監事	河野 良雄		



Webサイト



X



Facebook



Instagram
@NPO_ADDS

ADDS

Advanced Developmental Disorders Support

2023 ANNUAL REPORT

特定非営利活動法人ADDS 2023年度年次報告書

発達特性がある人が 生きやすい社会づくり。

皆様のおかげをもちまして、当法人は、長かったコロナ禍も乗り越え、組織の基盤を強化しながら安定して通所施設の運営ができるようになりました。制度事業の広がりとともに組織規模も大きくなり、江戸川区をはじめとする行政との連携や、全国の事業者様とのネットワーク構築事業も始まっています。

一方で、日本の福祉制度は、エビデンスに基づく政策決定には程遠い方向に舵が切れ、研究と実践に基づき適切に声を上げる努力がもっと必要です。さらに、「誰一人取り残さない」というには程遠く、発達障害にまつわる課題はあちこちで顕在化し、困り感を抱えた当事者やご家族が多くいらっしゃいます。

そういった制度なきところへ先頭を切って支援を届けるような活動は、私たちの力だけで持続させることができません。この15年間、組織体力やリソースの不足を理由に、制度への働きかけや制度の狭間にいる当事者やご家族への支援を、十分にやり切れてこなかったことは、私たちがこれから向き合ふべき課題です。2023年度はそのことを強く意識する年でもありました。ここからは皆様と一緒に社会を変えていくことに、本気で取り組みたいのです。何卒、温かいご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

※各種ご支援の方法は最終頁に記載させていただきました

共同代表 | 熊仁美 心理学博士 公認心理師 | 共同代表 | 竹内 弓乃 臨床心理士 公認心理師



ADDsの事業

研究開発・啓発

ADDsでは、効果の高い療育プログラムに加え、全国各地の既存の療育機関でも活用いただける療育支援システムAI-PAC(特許第6872811号)や人材育成プログラムの開発を行ってきました。現場の質の高い実践から得られる臨床の知が、より多くの親子に届くよう、今後も研究と開発を続けてまいります。

また、研究的知見を生かしながら、制度をより良くするための政策提言にも力を入れてまいります。



障害児通所支援事業・指定管理事業・オンライン発達相談

ADDsの発達支援は、発達心理学と応用行動分析学という2つの学問領域に基づいています。お子様の発達状況を丁寧にアセスメントし、オーダーメイドのカリキュラムを構成、進捗に合わせて更新することで、効率的に発達を促します。保護者の方にも学びの機会を提供し、子育ての中で問題解決ができ、自信を持って子育てを続けていただくことを目指しています。「保護者は子どもにとって一番の理解者であり支援者である」という理念のもと、ご家族とチームになってお子様一人ひとりのその子らしい学びをサポートします。



支援者育成事業

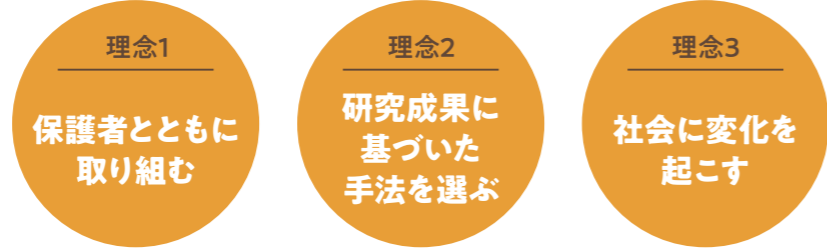
ADDsは、立ち上げ当初より「支援者の学びの場」であることを大切にしてきました。当事者を取り巻くすべての人がよく理解者・支援者になれるよう、研究と実践で培ったノウハウをさまざまな形でお伝えしています。

支援者向けに「初級ABAセラピスト養成研修」の提供や、学生セラピストの養成なども行い、受講生が教育・福祉分野をはじめ社会の様々な領域で活躍しています。今後は、支援者の学びの場としての機能をさらに重視して、多くの団体と手を取り合って、持続可能な学びのネットワークを築いていきます。



Mission ミッション

発達支援が必要なすべての人が自分らしく学び
希望をもって生きていける社会をともに実現します。



ADDsのあゆみ



すべての人が希望をもって生きていける社会へ



数字で見るADDS

2023年、私たちはどんな活動をしてきたでしょうか。
ADDSについてこの1年間を数字でふりかえってみました。

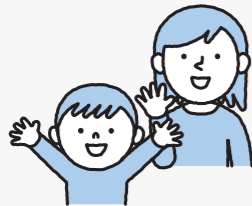
エビデンスに基づく発達支援を提供した親子の数

AI-PACやべあすくを提供した実人数と延べ人数です

江戸川区発達相談・支援センター、ADDS Kids 1st荻窪、ADDS Kids 1st鎌倉、全国で質の高い支援に取り組まれている実装先機関(合同会社おおぞら、一般社団法人キッズライン、児童発達支援・放課後等デイサービスこどもサークル、児童発達支援にじいろデイズ市川新田、ぶりんぐあっぷちば子ども発達センター、社会福祉法人まつど育成会、児童発達支援マルシェ)とともに提供。

※実人数・延べ人数(実際に提供したコマ数)とは? 例:10名のお子様へべあすくを提供し、全員が月4回利用した場合…実人数10×月4回通所×12カ月=延べ人数480となります。

べあすく
提供事業者



実人数 **401**人
延べ人数※ **22,691**人

発達支援データ解析数

AI-PACやオンライン発達相談kikottoなどのデータを合わせて集計しております

療育課題に関する延べ5,273件のデータを解析し研究をおこなっています。

AI-PAC®とは…行動的・発達の観点による5領域600課題からなるカリキュラムを軸に、1人1人のお子さんに合わせた進捗管理や、記録を通じた家庭との連携、支援計画の作成や、教材や動画の活用などができる革新的なアプリケーションです。



5,273件

相談支援提供延べ人数

相談支援を提供した延べ人数です。江戸川区発達相談・支援センター、ADDS Kids 1st鎌倉、オンライン発達相談kikottoにて受け付けた様々な相談に対応しました。



11,192人

学びを提供した支援者の数

研修・シンポジウム・ワークショップ・セラピスト育成・実習など様々な形で「支援者の学びの場」を提供しました。



2,980人

2023年度活動の報告

1 Topic

発達障害支援の「質の向上」を目指す地域ネットワーク構築事業 ～特性に応じた適切な支援を受けられる機会を、すべての子どもに～

本事業では、発達障害及びその可能性がある、未就学～小学校の子ども(1歳～12歳)を対象に、発達理論や行動理論に基づく支援の提供や、標準化されたアセスメントの導入、および支援の質の向上を目指す「地域ネットワーク」を構築する事業を行う団体へ資金的・非資金的支援を行います。

※特定非営利活動法人ADDSとREADYFOR株式会社がコンソーシアムを組んで行う事業です。



2 Topic

ADDSには、お子さんとご家族の役に立ちたい、社会をもっとよくしたい、 という想いを抱いた大学生たちが集まっています!

ABAに基づいた発達支援に興味を持つ学生が所属する学生セラピスト部。ADDSで得た知識を元に、お子さんやご家族のためのイベント企画や、インターンとしての活動をしています。2023年は、親御さんに自由な時間を楽しんでほしい!お子さんに楽しい一日を過ごしてほしい!との想いから、「託児ルーム」を2度開催しました。また4月の自閉症啓発イベントでは、自閉症疑似体験ブースを運営し、感覚の特性を知ってもらうきっかけづくりに取り組みました。



3 Topic

書籍重版記念企画「サンキュー動画」として発達支援や 子育てに役立つショート動画39本を目指して発信中!

共同代表 熊と竹内の共著「[できる]が増える! [困った]行動が減る! 発達障害の子への言葉かけ事典」の重版を記念し、感謝の気持ちを込めて、発達が気になる子の子育ての参考にしていただけるショート動画をInstagramにて公開しています。

書籍を読む時間がなかなか取れない忙しいパパママにも、書籍のエッセンスを取り入れたお子さんとの関わり方のヒントをお届けしたく、気軽に見いただける長さの動画を不定期で発信しています。24年7月時点で18本目まで公開済み、残り21本も随時アップ予定です。



各地に広がるADDSの環



すべての人が希望をもって生きていける社会へ





2023年度の活動について

2023年度活動の中でも注目の、オンライン発達相談「kikotto」に携わるスタッフからのメッセージと、その他の活動をお知らせします。

ADDsスタッフインタビュー

長崎で子育てしながらリモートワーク
ADDsが取り組む早期療育モデル地域実装先で出会いました！



米澤 優花

仕事 オンライン発達相談
kikottoのSV兼 相談員

資格 小学校教諭、幼稚園教諭、
特別支援学校教諭、公認心理師

オンライン発達相談kikottoの仕事内容

LINEやZOOMを使って、普段の子育ての中のお困りごとへの対応から医療機関の受診、支援につながるまでの情報提供などのサポート、すでに支援につながっておられる方にはABA(応用行動分析)に基づく家庭療育の具体的な取り組みのご提案などを行なっています。このほかにも、関連企業のスタッフの方向けに発達障害への理解促進・現場での対応スキル向上のためのオンライン研修会や相談会、オンライン学習サポートツール「すらら」とkikottoのLINE相談がコラボした『すららwith kikotto』でお子さんの特性に合わせた学習支援+日常生活場面でのお困りごとの相談なども行なっています。

障害児支援に関わるきっかけ

幼少期から6才下の弟(LD,ASD)の療育に付き添ったり、小学生の時にはお隣の特別支援学校の友達と週1回交流したりする中で、障害のある方と接する大人の温かい眼差し、ゆったりとした雰囲気の子供ながら心地よさを感じていました。そういった経験から将来は障害を持った方に携わる仕事につきたいと大学では特別支援教育を専攻しました。卒業後は昔からの憧れであった療育の現場に就職。5年ほど児童指導員として勤務したのち、ご縁あってkikottoのSV兼相談員として勤務をすることとなり、今年で3年目になりました。

発達支援にかける想い

『手段・時間・場所にこだわらない新しい支援を、全国・全世界の親子に！エビデンスに基づいた成長が目にみえる支援のノウハウを、想いを同じくする方々に！』をモットーに、支援の輪を広げて一人一人が自然にイキイキと輝く社会を目指します！！

2023年度活動の実績

- 4月
 - 世界自閉症啓発デー「歩こう話そうTALK&WALK2023」イベント内のシンポジウム「強度行動障害～ABAに何が出来るか～」竹内登壇
 - 学生セラピスト部による「自閉症疑似体験」ブース設置
 - 一般社団法人あそび庁と事業連携スタート
 - こども家庭庁 小倉大臣を一般社団法人あそび庁と共に表敬訪問
 - 現場の支援を可視化する画期的ツール「AI-PAC LAB.」(無料)の利用マニュアル公開
 - 一般社団法人日本行動分析学会 代議員に熊就任
 - 重版決定【書籍(熊・竹内共著)「できる」が増える！「困った行動」が減る！発達障害の子への言葉かけ事典】
- 5月
 - 鎌倉市障害者支援協議会 地域生活支援部会「大船まつりパレード」に参加
- 6月
 - こども家庭庁に一般社団法人あそび庁と共に竹内・熊が訪問
- 7月
 - 2022年度NPO法人ADDs事業報告会 オンライン開催
 - 鎌倉FMラジオ竹内出演
 - 秋草学園短期大学・地域保育科にて「応用行動分析に基づく発達支援」加藤講義
- 8月
 - 親子向けイベント「しごとてん鎌倉2023」にて自閉症疑似体験ワークショップ開催
 - 「こどもまんなか応援サポーターになろう！講座」内にて「こどもの発達・発達」竹内登壇
 - 一般社団法人公認心理師の会年次総会にて【教育・特別支援部会/福祉・障害部企画「福祉・教育領域における公認心理師の協働によるシームレスな就学支援」熊話題提供
 - 一般社団法人公認心理師の会の理事に熊就任
- 9月
 - NHKラジオ「みんなの子育て深夜便」に竹内出演
 - 【書籍重版キャンペーン】Instagramにて39(サンキュー)本の動画投稿をスタート
 - Instagram公式チャンネル スタート
- 10月
 - ウェブメディア【ToySub!Times】にて、竹内による「育児お悩み相談」掲載スタート
- 11月
 - 休眠預金活用事業の資金分配団体となり、資金的支援および非資金的支援(伴走支援)を提供開始
 - ウェブメディア【東洋新聞education×ICT】に、ADDsが「新時代『発達障がい教育』推進プロジェクトチーム」として関わっている徳島県教育委員会の取り組み掲載
 - ウェブメディア【DRIVE】にてADDs Instagramの取り組み掲載
 - 発達障害学会にて「パーソナルデータアプリを用いた相談支援システムの実証とその効果」熊が発表
- 12月
 - ECナビ募金「スマイルプロジェクト」寄付団体先に選出頂きました
 - 竹内が副代表を務める日本放課後学会の【放課後学AWARD2023】で審査委員を務めました
 - Yahoo!ニュースエキスパートとして「個別療育の危機？発達支援の「質」の話は今始めよう」竹内ウェブ記事公開
 - 日本発達障害学会第58回研究大会にて「パーソナルデータアプリを用いた相談支援システムの実証とその効果」熊が発表を行いました
- 1月
 - 【災害時情報】発達特性があるお子様の災害時におけるケアについての情報を発信
 - 『研究者が目指す社会実装～大学等の知を活かした社会課題の解決に向けて～』2024/1/10 ※大学発SDGs社会課題解決型科学技術プログラム創出事業(沖縄県委託事業)シンポジウムにて熊登壇
 - 第2回「こどもまんなか応援サポーターになろう！講座～こどもまんなか社会実現に向けて～」竹内登壇
 - 岩手県岩手町にて講演「子どもの「気になる行動」を成長につなげる工夫～発達障がいの子どもの「にがて」を体験してみよう～」熊・竹内登壇
- 2月
 - 第3回「こどもまんなか応援サポーターになろう！講座～こどもまんなか社会実現に向けて～」こども家庭庁後援 竹内登壇
 - ADDs主催 トークイベント「家でも学校でもないサードプレイス～ユーザーセンターって？」竹内登壇
 - 【熊・竹内監修】(AERA with Kids+)ADDs×tomekko「専門家と一緒に！一歩ずつ前進！発達でこぼこキッズ」漫画連載スタート ※24年12月まで毎月掲載予定
- 2月
 - 新公益連盟ソーシャルビジネス経営者合宿内の分科会「行政との連携と政策形成」にて竹内登壇

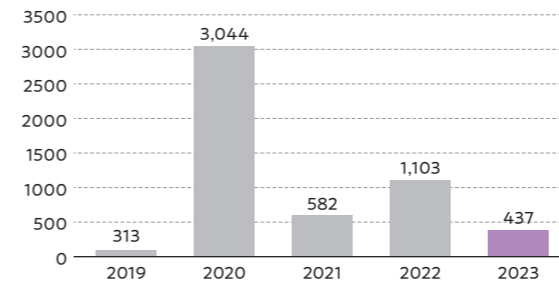
2023年度財務報告



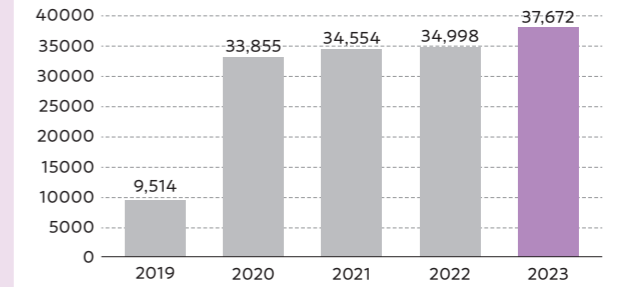
データの前提

特定非営利活動法人ADDsは「発達支援が必要なすべての人が、自分らしく学び、希望をもって生きていける社会をともに実現します」というミッションを掲げ活動しています。利益は継続的に支援と研究を続けていく為に必要不可欠なものであると考え、本ページにおいて財政情報の開示を行い、経営の透明性を高めてまいります。

正味財産増減額(単位:万円)



経常収益の推移(単位:万円)



2023年度活動計算書(単位:円)

科目	金額	科目	金額		
経営収益	1 受領寄付金	1,487,888	経常費用	1 事業費	354,774,210
	2 受領助成金等	277,005,478		2 管理費	17,581,548
		受取助成金	5,981,690	経常費計	372,355,758
		指定管理収入	271,023,788	経常外収益計	0
	3 事業収益	87,627,740	経常外費用	0	
		支援者育成事業	17,201,572	経常外費用計	0
		障害児通所支援	62,369,452	当期正味財産増減額	4,364,995
	収益事業	7,937,516	前期繰越正味財産額	80,404,873	
	EDS収入	119,200	法人税、住民税及び事業税	517,600	
4 その他の収益	10,599,647	次期繰越正味財産額	84,252,268		
経営収益計	376,720,753				

以上、NPO会計基準に従ってご報告いたします。ADDsは今後も財務の健全化と透明性に努めてまいります。

2023年度の正味財産増減額は約437万円となりました。また、経常収益に関しましては、指定管理料の増加や新たに休眠預金活用事業の開始等により37,672万円となりました。皆様に広くご支持とご支援を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。これからも、収益の安定化を目指し、継続的な事業の運営に役立ててまいります。

ADDsは事業の収入を主としておりますが、皆様からの寄付金や補助金、助成金等を新規事業や既存事業の改善に活用させていただいております。今年度も、啓発活動や学生セラピストの活動、発達支援アプリAI-PACの支援記録をベースにした研究などに活用させていただきました。特にInstagramでの情報発信など、保護者向けの啓発活動を積極的に行いました。

今後も指定管理事業、障害児通所支援事業の安定的な運営とともに、支援者育成事業等の健全な運営やガバナンスの強化を行い、ミッション達成に向けてより精進してまいります。引き続き、皆様のご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願いいたします。

